「よきこと」をつなげる、「よき存在」になる

ーコロナ禍後の地域コミュニティを考えるー

牧野　篤
（東京大学大学院教育学研究科）

１．何が問われているのか

コロナ禍で起こった「恩送り」

地域の高齢者を心配して布マスクを縫って届けた中学生たち

校区の子どもたちのために布マスクを縫って配付した高齢者住民たち

⇦互いに相手を慮って、うれしかった！！

Compassion

Compassionate Community

共感
基本はPassion=悲しみ・苦しみ
Con(Com)=分かちあう

Compassionとは悲しみを分かちあうこと
相手の身になること

「恩送り」：自分への見返りを考えずに、相手にとって「よきこと」をする
⇦基本的に、次の世代を育むこと＝社会をつなげること

私たちが社会をつくっていることの基盤
Compassion
⇨Compassionate Community (苦しみ・悲しみを分かちあう社会）

相手への想像力、「よきこと」に気づく、実践する

人と人との関係性・かかわりが基本

Compassionが基本となって、
人に対する感情・信頼が生まれ、
市場への信頼感が生まれる
Well-beingな社会と個人

当事者でなくても、当事者性を持てる

Well-being :

Compassionが基本となって
「よき存在」となること

「よき存在」とは
社会の中にあって
他者を自分事化して
「よきこと」をする存在
＝当事者性を持って生きること

Well-beingな個人が持続可能な社会を生みだしていく
個人のWell-beingと社会のWell-beingは「よき存在」として
一つになる

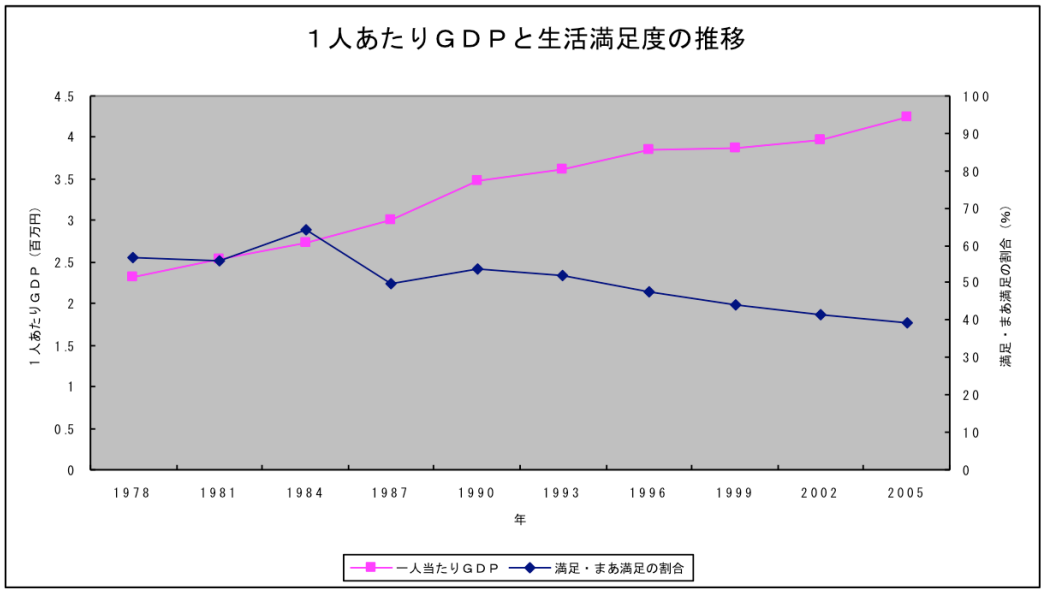
2．VUCAの（予測困難な）時代：存在欲求の時代

<u>VUCAの時代</u>
V: Volatility（変動性）
U: Uncertainty（不確実性）
C: Complexity（複雑性）
A: Ambiguity（曖昧性）

⇦もともとは安全保障上の概念：
東西冷戦が終結して民族紛争など局地紛争が頻発。
核戦略だけで安全保障が語れなくなり、めまぐるしく
変転する予測困難な情勢を表現
⇨転じて、経済用語に

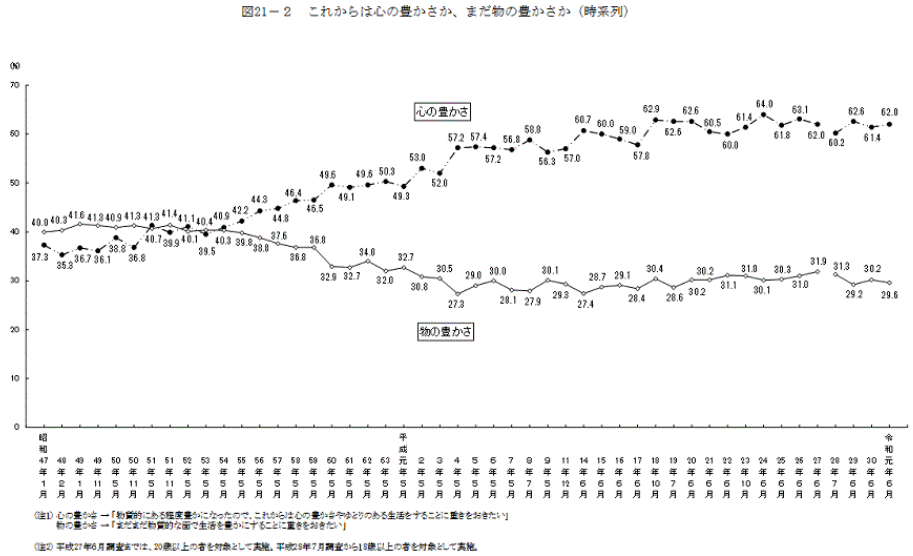
⇨「幸福感」の変化

イースタリンの逆説



https://www.ishes.org/project/responsible_econ/happiness_econ/paradx_happiness.html

これからは心の豊かさの時代

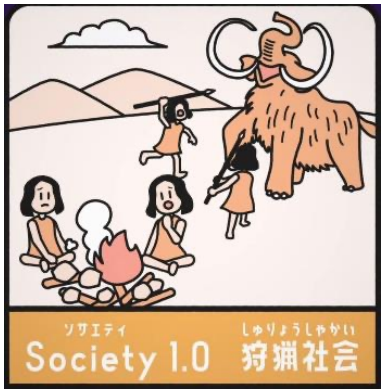


内閣府「国民生活に関する世論調査」（令和元年6月）
https://survey.gov-online.go.jp/r01/r01-life/zh/z21-2.html

Rapid social change

社会の変化のスピードが速くなっている

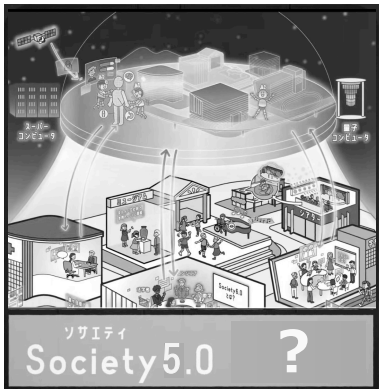
旧石器時代
１万年以上前



平安時代
1000年前

明治時代
150年前

現代
2020年



10000 years

1000 years

150 years

10 years?

人間が大人になるまでの
期間より短い

岩岡寛人・(一社)ディレクトフォース・シンポジウム資料(20230726)より

これまでの「問題」「課題」解決や目標設定を目的とする社会

⇨「問題」「課題」がズラされて、新しい価値をへと転換し続ける社会

例）ホームレスへの対応
　物質的な支援・就労支援から、関係性の「かかわり」へ
　ホームレスの社会空間における位置づけの変化が
　新しいまちの人と人とのつながりをつくる

⇨変化し続け、達成のない社会
　達成ではなく、持続が目的となる社会

⇨所有欲求から存在欲求・承認欲求への転換

存在欲求の時代へ

いまだに所有欲求の時代の価値観で問題を立てていないか？

目標達成ではなく、持続そのものが目的となる
PDCA等のバックキャストではなく
むしろ、AAR

一方向の拡大・増大ではなく、多方向への拡散・展開
所有ではなく、存在

⇩

常にプロセスにある社会へ
予測困難

3．人生100年時代の到来

2007年生まれの子どもの予測寿命（中位数）＝107歳

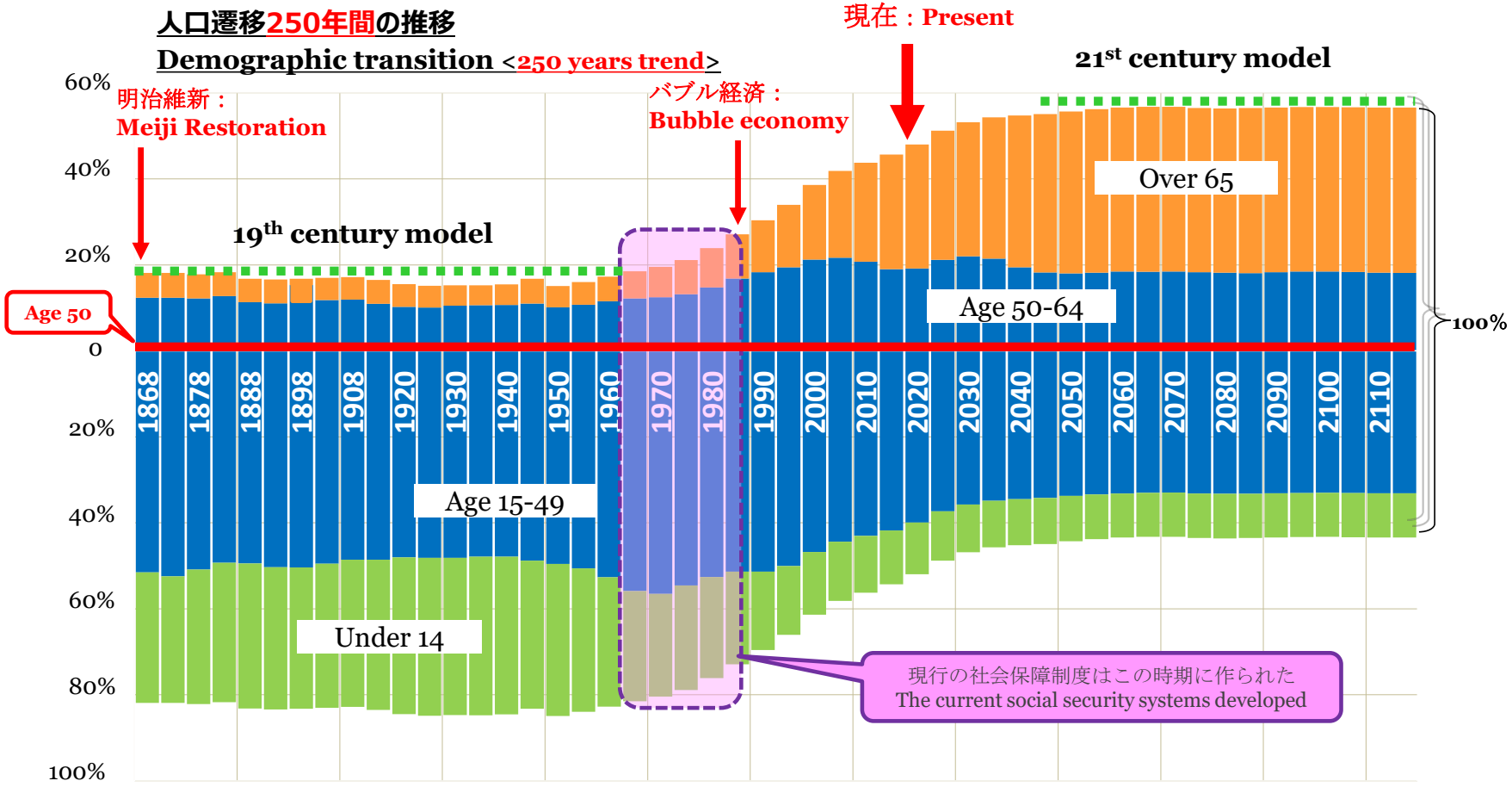
日本人の平均寿命＝男性：81歳　　女性：87歳
死亡最頻年齢＝男性：87歳　　女性93歳

健康寿命＝世界で最も長い

人口構造の遷移　Japan's demographic structure & transition

○ There has been a **major shift in the population structure** from the 19th to the 21st century.

○ It will be **impossible** to maintain the **social security systems** established in 1960-80s.



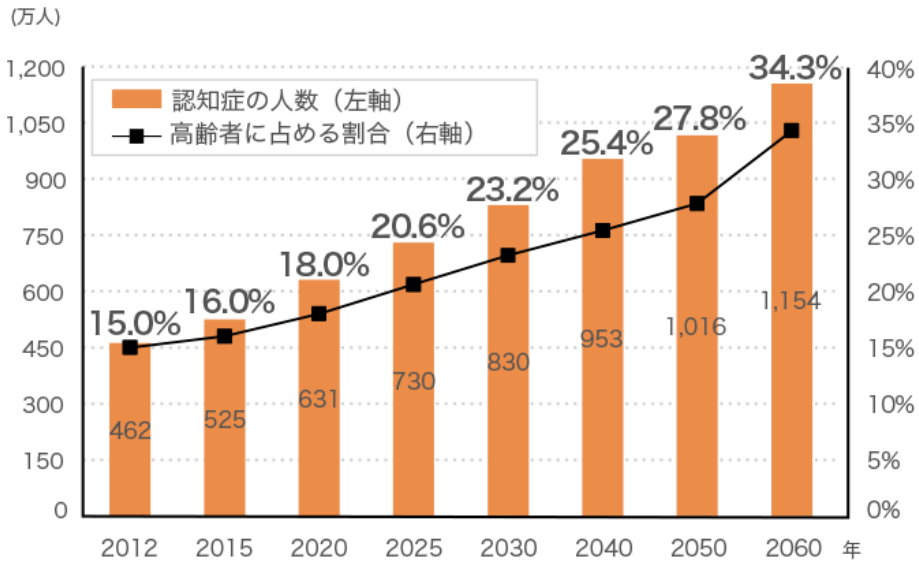
Source: Sensus, Okazaki estimate, National Institute of Population and Social Security Research 2017 estimate

© T Hasegawa　RIFH. Japan

UN Estimate2017

「量」の経済の時代の成果の先にあるものが課題化

認知症高齢者数：
2012年に462万人
高齢者に占める割合15パーセント
予測では
2025人に730万人、20.6パーセント
2060年には1154万人、34.3パーセント
総人口の13パーセントを占める



MUFG「認知症の現状と将来推計」、
https://www.tr.mufg.jp/shisan/mamori/dementia/(2019年9月9日閲覧)

厚生労働省オレンジプランの推計

高齢者の認知能力の加齢に伴う変化

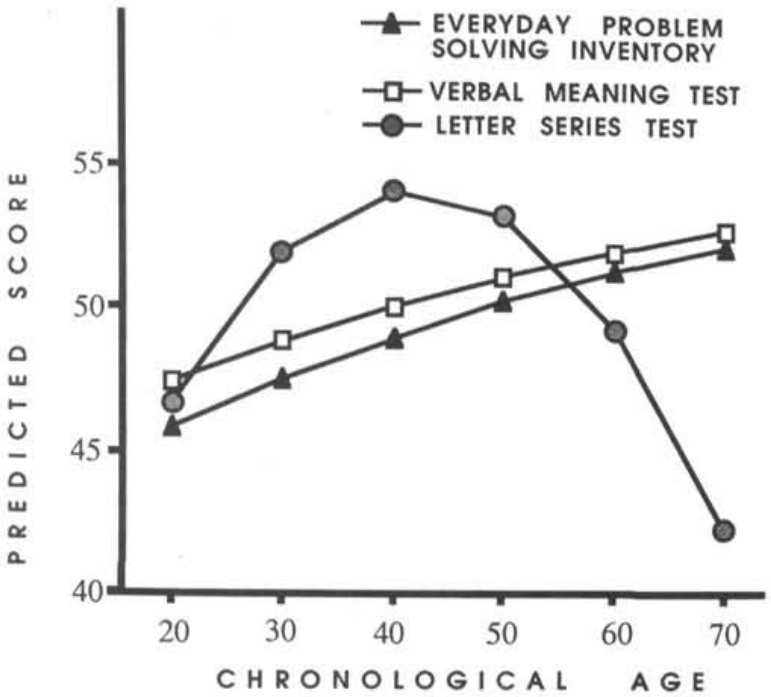


Figure 1. Regression lines displaying predicted levels of performance on ability tests as a function of chronological age. (Ability performance is measured in standardized *T* scores [$M = 50$, $SD = 10$].)

短期記憶は低下する

言語能力と日常生活問題解決能力は
伸び続ける

言語能力と問題解決能力は
人間関係に依存する

Cornelius, S. W., and Caspi, A., 'Everyday problem solving in adulthood and old age', *Psychology and Aging*, Vol2(2), Jun1987, p.150 *Figure1*

少子高齢人口減少社会
から
人生100年社会へ

高齢者への対応から
子どもたちを主役に
持続可能な社会をつくる

目標達成ではなく
持続可能な社会
⇩
常にプロセスにある社会

４．人は何が大切なのか

過疎地三つの空洞化（小田切徳美：明治大学農学部）

人の空洞化
土地の空洞化
集落機能の空洞化

⇨誇りの空洞化　⇨集落の解体・自治の解体
⇨無住化

当事者性・プライドが
ものをいう

つながり

当事者性

プライド

自己有用感

サービス（お客様扱い）は
当事者性・プライド・自己有用感
＝生きる意欲
を奪う暴力

問題は事件が起こる前に
起きてしまっている
それが後から露わになる

自己発見・新しい自分

Well-being
（幸せを感じられる状態にある）

問題が起こらない社会

「学び」とは人がつながるプロセス

芸術・文化の本当の力
（平田オリザさんの話）

芸術・文化そのものの効能
コミュニティ形成や維持
直接的な有用性
⇨人々を結びつける
　生きる意欲
　互いに尊重しあう

公共財・つながり・共通善

恩送り

社会的処方
（居場所・出番）

芸術・文化による社会的包摂

社会の基盤を「耕す」社会教育

人はともに寄り添うことで
コミュニティを保ち続けることができる

コミュニティはcompassionの「関係」

尊厳・自尊感情

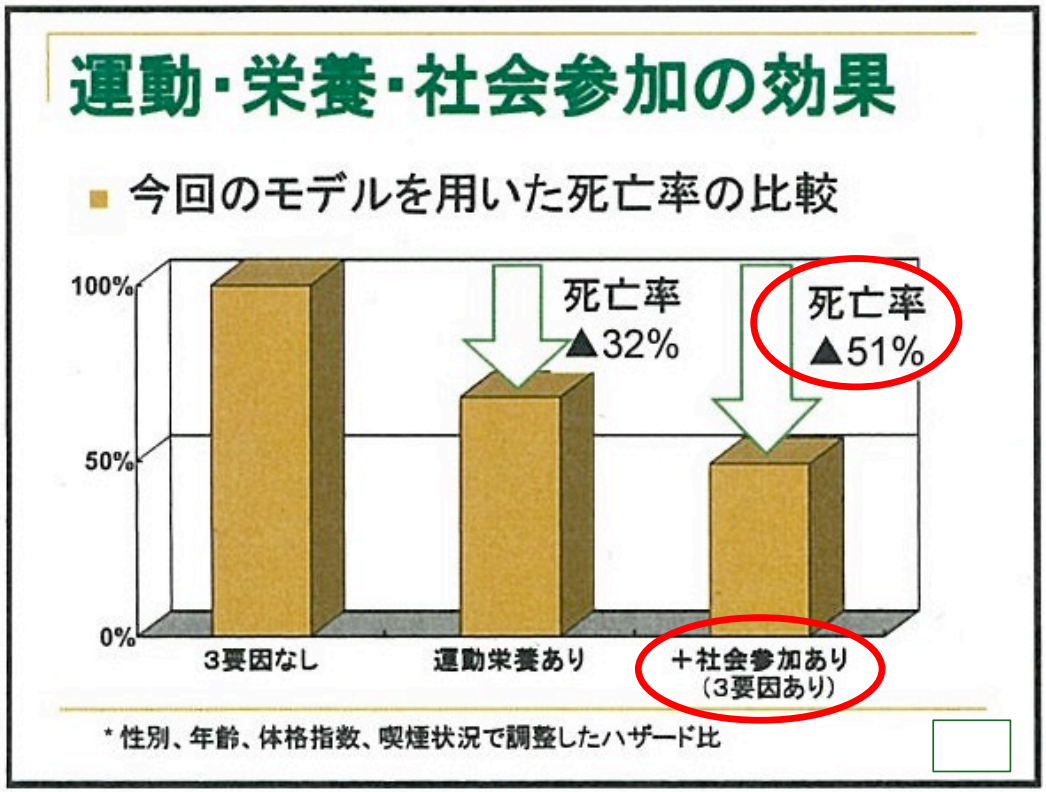
自己肯定感・自己有用感

かかわりの中で互いに認めあう
存在欲求が満たされる

5.　「かかわり」が大切な社会へ

静岡県高齢者コホート研究

【高齢者14,001人の追跡結果】
○運動・栄養について良い習慣を持つこと、更に**社会参加**により死亡率が大幅に低下



出典:「静岡県高齢者コホート調査に基づく、運動・栄養・社会参加の死亡に対する影響について」
2012年、東海公衆衛生学会、平山朋他

ボランティア活動が大学生のメンタルケアに有効
＝メンタルヘルスにおいて自己肯定感・自尊感情を高め
　首尾一貫感覚やレジリエンスを向上させる

和 秀 俊
「大学生のメンタルヘルスにおけるボランティア活動の可能性 」
調布学園大学紀要 第 13 号 2018(平成 30)年度
https://core.ac.uk/download/pdf/236372129.pdf

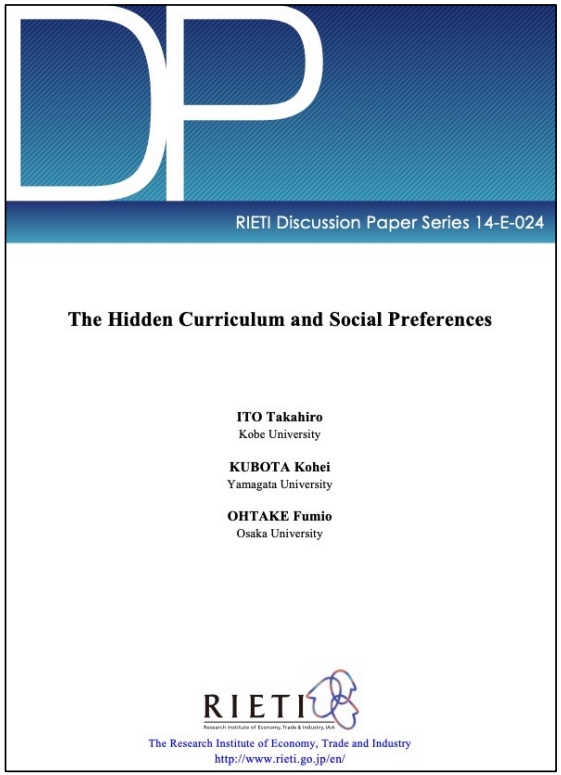
高齢者のボランティア活動参加者は、非参加者に比べて、
うつ病罹患率が有意に低い

田村元樹他「高齢者のボランティアグループ傘下と個人の撃つ傾向との関連：
傾向スコアマッチング法を用いた3年間のJAGES縦断研究」
日本公衆衛生雑誌 J-STAGE早期公開

https://www.jages.net/kenkyuseika/paper_ja/?action=common_download_main&upload_id=12843

小学生時代にボランティアなどの
経験を積んだ者は社会貢献意識が高まる

参加・協力を経験した子どもは、
他者のために行動することを好み、
利他性と互恵性が高まり、
他人への協力を好み、
国への誇りを持つようになる傾向がある


RIETI Discussion Paper Series 14-E-024

The Hidden Curriculum and Social Preferences

ITO Takahiro
Kobe University

KUBOTA Kohei
Yamagata University

OHTAKE Fumio
Osaka University

RIETI
The Research Institute of Economy, Trade and Industry
http://www.rieti.go.jp/en/

6. 当事者になるということ

（1）都市部の空き家を開放する

「住み開き」：
　自分の空間をちょっと開いて、公共空間にする

(財)世田谷トラストまちづくり：
「地域共生のいえ」

岡さんのいえTOMO

定期的な居場所をつくる / 開いてるデーカフェ＆駄菓子屋

メディアでの発信や取材

→ 人の集まる場をつくるために、様々な方法で情報発信を心掛けてきました。

岡さんのいえTOMO　2011年10月～2012年3月までのできごと

まちの、お茶の間 あらかると

オーナーと見守り隊員が、「あーでもない、こーでもない」と試行錯誤しながら、岡さんのいえTOMOも気づけばオープンしてから、はや5年目を迎えました。

とりわけこの1年は、上北沢小学校の先生やPTAの方との連携、上北沢の歴史に詳しい方にまちあるきのご案内をしていただくなど、岡さんのいえを飛び出して、上北沢の地域とつながれたことが大きな成果となりました。

そして、岡さんのいえTOMOの取り組みに興味を持たれた方、共感してくださる方が、遠いところから足を運んでくださる、嬉しい出来事もありました。

上北沢まち歩きマップ

手作り広場で上北沢小と交流

ストローで割り箸鉄砲づくり

手作り広場は、上北沢小学校PTAと地域団体とで行うイベントです。年に一度開催され、今回で26年目を迎えました。小学校の体育館いっぱいにブースが並び、各ブースでお子ども達は自分自身の手を動かしてものづくりを行います。

岡さんのいえTOMOチームは、舞台の上にサンポーニャ（ストロー笛）と割り箸鉄砲ブースを設置し、舞台に上がる階段を利用して射的コーナーを用意しました。受付開始の12時半から終了の16時まで子ども達はひっきりなしに訪れました。

私が担当したのは射的コーナーです。子ども達は自分でつくった的に向かって割り箸鉄砲を撃ちます。なぜちゃんと飛ばないのか、うーんと悩み、手を使って改良してまた挑戦する子も。上手く飛んで的に当たったときの喜ぶ姿は忘れられません。手を動かす大切さを子ども達から教えられた1日でした。（武蔵野美術大学・山田）

開催日：10月22日（土）12:30～16:00
開催場所：上北沢小学校 体育館

上北沢小学校PTA会長（平成23年度）栗原益美さんのお話

子ども達に手作りでおもちゃを作るお楽しさ、そのおもちゃで遊ぶ楽しさを感じてもらおうと、地域の皆様と保護者が手を携えて、毎年秋に上北沢小学校体育館においてPTA主催で開催してきました。今年で26回目になります。今年度初めて「岡さんのいえTOMO」の皆様に参加してしただき、大盛況に終わることができました。

上北沢まち歩き

大正時代の趣を探し求めて…

「まちのお茶の間」を目指す岡さんのいえ。それらは「まち」を知らなくてはと、昨年度末もの人たちに聞き取りをして冊子「上北沢いま・むかし」を作りました。今回のまちあるきは、この冊子に掲載した場所を中心に、上北沢の歴史に詳しい和田さんに案内していただきながら、上北沢3～5丁目をゆきました。

岡さんちのご近所とはいえ改めて歩いてみると、色々な発見がありました。例えば、大正時代に開発された上北沢住宅地（現：上北沢三丁目界隈）では、当時の建物はほとんど無いとのことでしたが、大きな庭木や立派な門柱等はあり、当時の面影を感じることができました。防停連りを中心とする特徴的な区画は昔と全く変わっていない事も驚きでした。（見守り隊員・後藤）

開催日：11月20日（日）13:30～16:00
案内役：和田さん
参加人数：14人

和田さんのつぶやき

上北沢は平安時代からの古いムラで、他の地域との関わりも深い。また賀川豊彦師の松沢教会等もあり、説明に事欠かない、まちの歴史の説明によって、参加者の理解や関心が高まればと思う。

上北沢小のサマースクールで囲碁教室を開催

初日の前半は1～3年生。ルールと言葉の意味が、どの程度わかってもらえているか不安でしたが、30分後には実際に対局を始めました。小学生に囲碁を教えたことがないので、内心不安でしたが、「覚えるより楽むが最し」とはこういうことをいうのかなと、感じました。

参加した5年生の3人組が「囲碁部を作ろうよ」と話しているのを聞いて「囲碁教室」は成功したなと嬉しくなりました。

岡さんのいえTOMOでの「囲碁教室」開設が現実味を帯びてきました。（見守り隊員・櫻田）

左記写真：見守り隊員・小池夫妻と上北沢高校男子も参加

開催日：7月21日、22日
囲碁講師：見守り隊員の櫻田さん
参加人数：1日目16人、2日目14人

クリスマス会 お茶の間コンサート

今回は、家族がお茶の間でクリスマスを楽しみに集うような、クリスマス会をしかけました。運営と、費用がかからないと言う事も大切な視点です。

突然、義母「おずまさん」のおばあさん役や、演師の役を引受けることになり、見守り隊員にも活躍の場が無い込んできました。チェロや手作りの楽器で生演奏を楽しんだり、小学生ピアニストが練習の成果を発表したり、岡さんのいえならではの演出に。皆で歌い、ドタバタを笑って楽しんだり、ほんわかコンサートになりました。（見守り隊員・糸原）

開催日：12月21日（水）14:00～15:00
演奏者：島田 茜子さん。
企画：親子のまったり市場＆見守り隊員

岡さんのいえに来訪された方たち

10月には保坂展人区長が、12月には秋山副区長が「開いてるデー」にいらっしゃいました。11月のドクターゴトーの講演会には、ホームページを見たという方がわざわざ飯木からいらっしゃいました。11月の末には西宮市役所の方が視察にいらっしゃいました。

見守り隊員の皆様と作ってきた日々がゆっくりと、でも着実に芽が出ているのを感じるうれしい来訪者の日々でした。

視察、歓迎いたします。（オーナー・小池良実）

優しスペースの利用状況

子ども美術大学や、手こねパン教室、12月には、桐朋音楽大学の卒業生の方がわらべうたの会で使っていただいたり、1月には自主映画の方の撮影で使っていただいたり、3月には宮城県の東松島へ震災の復興支援している方々が岡さんのいえとコミュニティ同士のつながりを、と使って下さいました。今後が楽しみです。貸しスペース、やってます。お問い合わせ下さいませ。（オーナー・小池良実）

文化祭とドクターゴトー講演会

上北沢区民センターの文化祭との連動イベント。子ども達がボードゲームで遊んだ後、15時から講演会。岡さんのいえを始め地域共生のいえなど、私有空間を地域に開放する活動研究で博士号を取得した、後藤さんの充実した講演でした。（見守り隊員・地引）

開催日：11月6日（日）12:00～16:00
先生：東京学芸大学の後藤智香子さん
参加人数：23人

まちのお茶の間、開いてます。
岡さんのいえTOMO
岡さんのいえTOMO
おめでとう!

庭をポケットパークに

岡さんのいえTOMO
岡さんのいえTOMOってどんなところ?

まちのお茶の間、開いてます。
岡さんのいえTOMO